



不可能を可能にする ICT

情報流通行政局情報通信作品振興課長

飯村 由香理 IIMURA Yukari

- 平成 11年 4月 郵政省採用
- 同 放送行政局地上放送課
- 平成 13年 1月 総務省情報通信政策局地上放送課
- 平成 13年 7月 同 情報通信政策局情報通信利用促進課
- 平成 14年 8月 同 情報通信政策局放送政策課政策係長
- 平成 16年 7月 同 情報通信政策局衛星放送課振興係長
- 平成 17年 3月 産休・育休
- 平成 18年 4月 総務省情報通信政策局情報通信政策課振興係長
- 平成 18年 8月 同 情報通信政策局情報流通振興課情報流通高度化推進室課長補佐
- 平成 19年 7月 同 情報流通行政局情報通信作品振興課課長補佐
- 平成 21年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐
- 平成 22年 4月 産休・育休
- 平成 23年 1月 総務省総合通信基盤局総務課課長補佐
- 平成 23年 7月 同 情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐
- 平成 24年 8月 同 情報流通行政局衛星・地域放送課地域放送推進室課長補佐
- 平成 26年 8月 同 情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐
- 平成 28年 7月 ヤフー株式会社(官民交流派遣)
- 平成 30年 7月 総務省情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室長
- 令和 2年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課市場評価企画官
- 令和 4年 6月 内閣官房内閣人事局参事官
- 令和 5年 7月 現職

思いをカタチにできる仕事

誰かの「できない」を「できる」社会に変えたい。そんな思いで情報通信行政に携わっています。

ICT(情報通信技術)は、コミュニケーション手段や技術革新の基盤として、その思いをカタチにできるものです。例えば時間と場所にとらわれないテレワークは、物理的に出勤できない場合でも仕事ができ、自分自身、二人の子育て中、急な発熱の呼び出し、学校行事など出勤できる時間がない中、不可欠でした。その推進に向け旗を振り、産業界、関係省庁と連携し取り組みました。その後コロナ禍も経て定着し、育児や介護事情だけでなく、誰もが効率的・効果的に働けるDXの機会となりました。

情報バリアフリー支援事業を行っていた際、視覚に障がいのある方が音声読み上げ技術により、初め

て自分でネット上の情報を能動的に探すことができ、格段に世界が広がったとの声を聞き、ICTの可能性を感じました。社会全体が働きやすく利便性ある環境となり、「できる」ことが増えるよう、熱い思いをもって仕事に取り組んでいます。

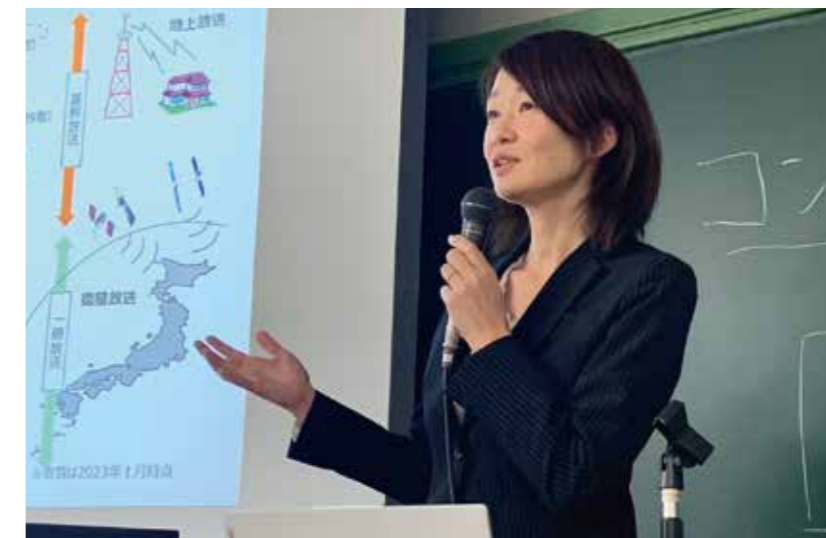
生活に密着しているICT行政だからこそのユーザー視点

情報通信行政は、生活・社会・経済に不可欠な社会基盤である情報通信分野で、安心・安全な環境、利活用による社会変革やイノベーションを創出する大変刺激がある業務です。あらゆる産業の横串であることから、様々な関係者との調整はもちろん、ユーザー視点を常に持つ事が重要です。ヤフー株式会社への人事交流時、全てのサービスがユーザーファーストでデザインされており、その意識が徹

底していることに貴重な気づきを得ました。様々な職場で働くチャンスがあることも総務省の魅力の一つですし、制度やルール、予算事業等によりユーザーの困り事や課題解決の道筋をつけていく事が可能です。

楽しだもん勝ち！一緒に動きましょう！

これからますます予測不能な時代になります。例えば一気に拡大した生成AIは、イノベーションの起爆剤となる一方、誰かの権利侵害の恐れや偽・誤情報が莫大に増える危険性もあり、バランスある政策を考えることが一層求められます。変化への柔軟な対応力、若い皆さんこそ活躍出来る場が多い総務省で、楽しみながら一緒に進めましょう！



大学でコンテンツ施策について講義中



テレワーク・デイズ2019での説明



中2の息子と鎌倉散策

若手職員の声



情報流通行政局情報通信作品振興課

深水 健一郎

(令和4年入省)

情報通信作品振興課では、視聴スタイルの多様化、動画配信サービスの急速な伸長など放送コンテンツを取り巻く環境が変化の中で、放送がこれまで果たしてきた社会的役割を引き続き果たしていけるよう、放送コンテンツのインターネット配信の促進に向けた取り組みを行っています。

課内ではテレワークを積極的に実施していることもあり、グループチャットでのコミュニケーションも盛んであり、柔軟な働き方ができる職場です。飯村課長には常に職員一人ひとりに気を配って頂き、こうした温かい職場で日々の仕事に全力で取り組んでいます。

PROJECT

放送コンテンツの制作・流通の促進

視聴スタイルの多様化、動画配信サービスの急速な伸長などコンテンツを取り巻く環境が大きく変化中、コンテンツ産業を牽引する放送が、その社会的役割を引き続き果たすための施策を推進しています。コンテンツ制作に関わる人材確保・育成、制作・流通環境の改善、我が国や地域の魅力を映像コンテンツとして海外に展開し、我が国のソフトパワー強化やインバウンド拡大・地域産品の輸出拡大など地方創生等へつなげる取り組み、情報空間全体における健全性の確保が求められる中で、視聴者が信頼性の高い放送コンテンツを容易に視聴できる配信プラットフォームの構築などを通じ、放送コンテンツの制作・流通促進を目指します。